工業英語実習2

教員名	浅川　英理子・岡部　義信	開講時期	後期

講義開講情報

選択・必修の別：必修

授業の到達目標及びテーマ

工業英検３級に合格することを目標に授業を行う。授業では、課題文および演習問題について学生を指名し、音読・翻訳および回答をしてもらう。教科書に書かれていないことも随時補足する。特に予習は必ず行なってくることを要求する。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
割　合							100		

授業の概要と方法

英語で書かれた取扱説明書、実験・生産工程の指示文・注意文等の、科学技術に関する基本的な英文を読むことができ、かつ、英語で簡単な説明文・操作指示文等が書けるようになることを目指した工業英語3級の検定試験用のテキスト「工業英検3級対策」に沿った授業を行なう。

授業計画

回	各回のテーマ	各回の目標	各回の内容	授業外に行なうべき学習活動	実施日
1	ガイダンス、模擬試験	工業英語実習2で何を学び、どう学習するかを理解する	ガイダンス、工業英検3級模擬試験(成績には勘案しない)	復習	
2	Chapter-1 工業英語の実践文法（その１）	工業英語表現としてよく用いられる動詞と文型、現在分詞の理解を確実にする	動詞と文型、現在分詞(その1)	予習および復習　ハンドブック基本例文の暗記	
3	Chapter -1 工業英語の実践文法　(その2)	工業英語表現としてよく用いられる現在分詞と過去分詞の理解を確実にする	現在分詞(その2)、過去分詞	予習および復習　ハンドブック基本例文の暗記	
4	Chapter -2　工業英語の語法と文体(その1)	工業英語に特有の専門用語・品詞の転換形、接頭辞、類似語について理解を深める	専門用語・品詞の転換、接頭辞と語の関係、類似語の言い表わし方	予習および復習　ハンドブック基本例文の暗記	
5	Chapter -2　工業英語の語法と文体(その2)	工業英語に特有のものを主語にした表現、その一般的表現方法の基本ルールを学習する	工業英語の主語、工業英語の基本的ルール	予習および復習　ハンドブック基本例文の暗記	
6	Chapter -3　試験問題の検討(その1)	工業英語の文体に慣れるため、英文和訳、和文英訳をやってみる	英文和訳(その1)、和文英訳(その1)	予習および復習　ハンドブック基本例文の暗記	
7	中間試験	学んだことが確実に身についているかどうかを確認する	学んだ範囲を中心とした3級形式による試験	結果の復習	
8	Chapter -3　試験問題の検討(その2)	工業英語の文体に慣れるため、更に和文英訳を続ける	和文英訳(その2)、選択肢問題	予習および復習　ハンドブック基本例文の暗記	

9	Chapter −4 問題演習(その1)	工業英語の文体に慣れるため、更に英文和訳を続ける	英文和訳(その2)、完成問題(その1)	予習および復習　ハンドブック基本例文の暗記	
10	Chapter −4 問題演習(その2)	工業英語の文体に慣れるため、長い文章を用いながら更に和文英訳を続ける	完成問題(その2)、和文英訳(その3)	予習および復習　ハンドブック基本例文の暗記	
11	Chapter −6　3級対策語彙(その1)	工業英語特有の語彙・単語を理解しているか、確かめる	語彙(その1)約250語	予習および復習　ハンドブック基本例文の暗記	
12	Chapter −6　3級対策語彙(その2)	ーー〃ーー	語彙(その2)約250語	予習および復習　ハンドブック基本例文の暗記	
13	模擬試験	期末試験とは別に、過去の3級検定問題に挑んで、検定試験に慣れる	3級形式による模擬試験	復習	
14	まとめ	学んだ範囲の理解と記憶の確認をする	学んだ範囲の全てについてのまとめと関連事項の説明	予習および復習　ハンドブック基本例文の暗記	
15	期末試験	学んだ範囲の内容を模擬試験的に確かめ、3級試験に備える	学んだ範囲の全てを中心とした3級形式による試験	復習	

テキスト

日本工業英語協会発行の「工業英検3級対策」・「工業英語ハンドブック」を、それぞれ主テキスト・副テキストとする。

参考書

随時紹介する。

成績評価基準

定期試験(60%)、授業時の質疑応答・発表およびレポート(40%)。学内の評価がD(不合格)であった者で工業英検3級以上に合格した者は学内の評価を合格(B以上)とする。

情報機器使用

PC で Powerpoint を利用する。

前年度の授業評価アンケートからの気づき

授業評価アンケートが集計中のため、記入できない。

その他

授業を4回以上欠席した場合は、工業英語検定合格の有無にかかわらず単位取得を認めない(評価D)。